

ジャイアントパンダの誘致・飼育について

WEB 情報などによる独自調査

1 ジャイアントパンダについて

四川省など中国のごく一部の地域に生息しており、中国国家一級重点保護野生動物に指定される絶滅危惧動物である。

海拔 1,300~3,600 メートル程度の標高の高い、寒冷地に生息している。

体長は約 150~180 センチ、体重は約 64~125 キログラムで、主食は竹である。

2 ジャイアントパンダの誘致について

中国国外のジャイアントパンダは、保護や飼育繁殖を目的とした日中共同飼育繁殖研究として、中国からの貸与となる。貸与の期限が来れば、原則として中国に返還する必要がある。

ジャイアントパンダを誘致する場合、貸与の可否、期間、中国での野生動物の保護事業への支援金、飼育環境など、中国との個別協議となる。

3 ジャイアントパンダを飼育している国内の動物園の概要

日本国内では、次の3か所でのみ飼育されている。

	東京都立 恩賜上野動物園 (東京都)	アドベンチャー ワールド (和歌山県)	神戸市立王子動物園 (兵庫県)	備考
頭数	4頭	4頭	1頭	令和5年 4月1日現在
経緯・ 目的	当初は日中国交正 常化記念、現在は 日中共同飼育繁殖 研究のため	日中共同飼育繁殖 研究のため	阪神淡路大震災被 災者等への支援と 日中共同飼育繁殖 研究のため	
エサ代 (年間)	約 800~1200 万円 /頭	約 600 万円/頭	約 450 万円/頭	到津の森公園 全体で 約 2,100 万円
獣舎	<新施設> 2,205 m ² <旧施設> 1,194 m ²	<施設A> 約 4,000 m ² <施設B> 約 2,000 m ²	656 m ²	気温 25 度以 下でなければ 生活できない ため、冷房設 備が必要
専属 飼育員数	8名	8名	2名	

※保護事業への支援金については3園ともに非公表。なお恩賜上野動物園については、平成22年2月、東京都知事から「中国での野生動物の保護事業に対して年間95万ドルを支援する」といった発言があっている。

4 北九州市どうぶつ公園協会（到津の森公園の獣医師）の意見

- ・高温多湿な気候である九州地域は、必然的に完全屋内飼育の期間が長くなり、ジャイアントパンダの健康や福祉の面で課題となる。
- ・到津の森公園にはジャイアントパンダを収容するスペースがない。